



観光情報コーナー・物販コーナー・軽食販売コーナーなどで構成される施設

# 魅力ある施設がオープン

### 空の駅さくら館

航空機の離着陸を間近で見られるさくらの山に、空の駅さくら館が開館し、オープン初日の3月26日は地元農産物の販売コーナーなどに大勢の人が訪れました。また、開館記念イベントとして、28日に航空写真家のチャーリィ 古庄さん、ルーク・オザワさんによるトークショー、28日・29日に「世界各国の料理が並ぶ国際村」が開催されました。県内外から年間約40万人が訪れるさくらの山に新たな魅力が加わりました。



新鮮な農産物などを求めて大勢の人が



1人1人が音を担当して演奏(ミュージックベル)

# にぎわう赤坂ふれあいセンター

### シルバーいきいきフェスティバル

平成26年9月に開館した高齢者の生きがいづくりの場、赤坂ふれあいセンターで「シルバーいきいきフェスティバル」が3月14日に開催されました。日ごろ同センターを拠点として活動するサークルが、ステージでダンスや合奏・合唱を披露。ホールでは絵手紙や書・絵画などの展示を行い、練習の成果を発表しました。子ども連れで訪れる家族も見られ、館内は多くの人でにぎわいました。

### 春の訪れを楽しんで

#### 公津しだれ桜ふれあいまつり

公民館で活動するサークルの発表を、桜とともに楽しんでもらおうと「公津しだれ桜ふれあいまつり」が3月28日・29日の2日間にわたり開催されました。天気も良く期間中に花はほぼ満開に。桜の下で、華やかな衣装でのダンスや宗吾藝座連による祭り囃子などが披露されました。館内では茶道や華道体験もでき、自宅に咲く花を持参して、生け花を楽しむ人もいました。



花の香りに包まれて(フラダンス)



話した内容を模造紙に書き込みます

# 成田のこれからを考える

#### 未来を語るトークスペース

子育て世代の市民が成田の将来を考える「未来を語るトークスペース」が3月29日、もりんぴあこうづで行われました。参加したのは、市内在住・在勤で20~40代の男性5人女性9人。市の現状や取り組んでいる施策について説明を受けた後、参加者たちで話し合いたいテーマを出しました。出されたテーマは「2050年に向けて自分たちの手でできる子育て環境づくり」「子どもが大人になっても「住みたい!」と思う成田とは?」など。参加者はそれぞれ興味のあるテーマごとにグループで話し合いました。

## 空の駅やアウトレットでも販売

#### 成田ソラあんぱん

成田の新しい名物として、市とパン事業者が共同で開発している成田ソラあんぱんの認証式が3月26日に市役所で行われました。名物にふさわしい品質を管理するために年1回行われる認証式も、ことしで3回目。今回認証されたのは、新商品4種類を含む全14種類でした。このうち一部は、空の駅さくら館で販売されています。また、4月17日俭から「さつまいもあんぱん」と「ピーナツあんぱん」が、酒々井プレミアム・アウトレットで販売されます。



認証された事業者と 市の関係者



アウトレットで販売されるピー ナツあんぱん



下総インターチェンジを出発する参加者たち



選手宣誓をする千葉真子さん

# 高速道路をウオーキング

### 神崎・大栄間圏央道開通記念プレイベント

5月までに開通が予定されている圏央道の神崎インターチェンジから大栄ジャンクションまでの区間。この開通を祝うイベント「神崎・大栄間圏央道開通記念プレイベント」が3月29日、下総インターチェンジで行われました。ウオーキングコースは神崎インターチェンジ方

面へ往復5kmと2kmの2つが用意され、マラソンランナーの千葉真子さんの選手宣誓後、参加者はスタートしました。公津地区から参加した女性は「景色を楽しみながら歩けたので、5kmもあっという間だった。孫と一緒に参加できて良い記念になった」と話していました。